

2024年度前期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	静岡理学療法学科	履修者数	1,040
------	----------	------	-------

回答者数	799
------	-----

学年 マーク	回答者数／構成比 (%)				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	95	225	465	14	0
	11.9	28.2	58.2	1.8	0.0

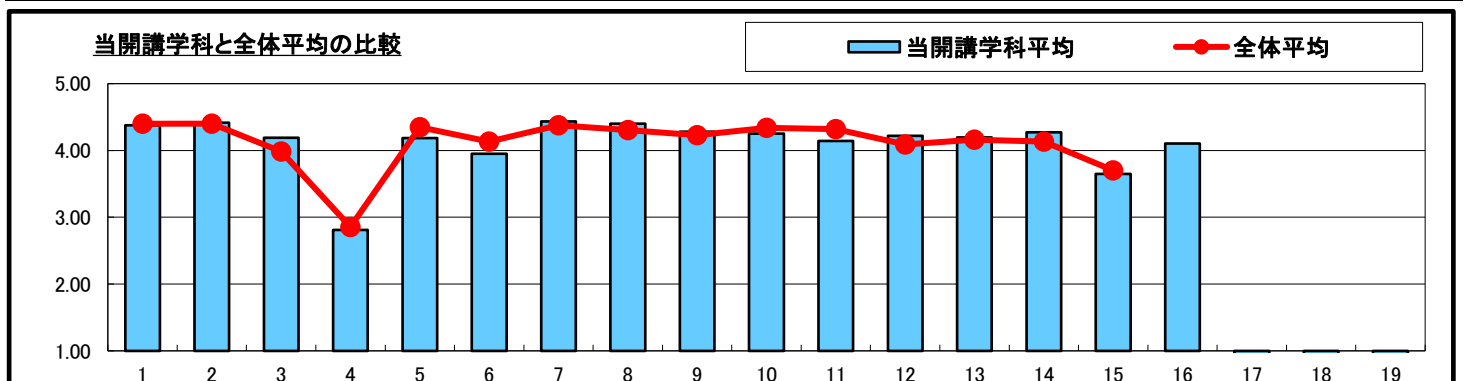
No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目									
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.38	392 49.1	335 42.0	56 7.0	10 1.3	5 0.6	798	1
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.41	420 52.6	308 38.5	54 6.8	16 2.0	1 0.1	799	0
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.19	321 40.2	338 42.4	112 14.0	23 2.9	4 0.5	798	1

▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	2.81	2時間以上 57 7.2	1時間以上 2時間未満 134 16.8	30分以上 1時間未満 304 38.1	30分未満 203 25.5	全くして いない 99 12.4	797	2
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.19	364 45.7	287 36.1	90 11.3	40 5.0	15 1.9	796	3
6	この科目の難易度は適切であった	3.95	277 34.8	308 38.7	123 15.5	70 8.8	18 2.3	796	3
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.43	432 54.2	301 37.8	46 5.8	14 1.8	4 0.5	797	2
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.40	422 52.9	296 37.1	61 7.6	16 2.0	3 0.4	798	1
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.28	422 52.9	248 31.1	80 10.0	25 3.1	23 2.9	798	1

▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.25	382 48.0	292 36.7	72 9.0	40 5.0	10 1.3	796	3
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.14	350 43.8	301 37.7	81 10.1	46 5.8	21 2.6	799	0
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.22	355 44.5	315 39.5	83 10.4	33 4.1	11 1.4	797	2
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.19	359 45.1	306 38.4	69 8.7	51 6.4	11 1.4	796	3
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.27	372 46.6	314 39.3	82 10.3	18 2.3	12 1.5	798	1
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.65	十分に 読んだ 201 25.2	よく読んだ 304 38.0	どちらとも いえない 156 19.5	ほとんど 読まなかった 89 11.1	全く読んで いない 49 6.1	799	0

▼学科設問									
16	分からないことについて、自分から調べることができた	4.11	287 36.0	374 46.9	90 11.3	25 3.1	21 2.6	797	2
17		-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	799
18		-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	799
19		-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	799



2024 年度前期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	静岡理学療法学科
講評者	静岡理学療法学科長 佐藤友紀

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	概ね高評価であったなかで、「3. 周りの学生に熱意が感じられた」が全体平均より高かった。資格取得を目指す学科のため、目的意識が他の学科の学生より高いことが関係していると思われる。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	「6. この科目の難易度は適切であった」が、全体平均より低かった。結果から、難しすぎるのか、易しすぎるのか判断できないが、学生の状況を見る限り、難しすぎて学修に追いついていくことができないものと思われる。今後の対応策を検討していく必要がある。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	「11. 板書、スライド、配布資料などは適切であった。」が全体平均より低かった。これに関しては、ほとんどの教員が授業資料をカラーで印刷して配布しているため、白黒の資料を配布する教員に対する意見であることも考えられた。原則、白黒の印刷にすることを大学として決めていただきたい。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	予想以上に、積極的な姿勢である回答であった。しかしながら、約 20% の学生が分からないことを自ら調べることができておらず、この 20% の学生が国家試験の学習に苦勞する学生である可能性があるため、早期から調べる習慣をどのように身に付けさせるのか、検討していきたい。